

平成 26 年 8 月 7 日

8 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は、平年 2 倍の降水量と長雨が続き支障出る。値下がり激しいヒノキの入荷少ない。スギは柱材と母屋取り材の順調な荷動き続くが、中目材は良材少なく、虫害の懸念から低調な引合い。ヒノキは品薄感から引合い戻る。価格は、スギは高止りの柱材が弱保合で中目材が保合。ヒノキは入荷量少なく底打ち感から、柱材は強含み、中目材は保合で推移。スギ、ヒノキの 14cm 以下小径木が異例の高止まり。特に 4m の母屋取り (10~14cm) は、前年同期比 4 割~7 割高で、スギは中目材、ヒノキは柱材を上回る価格で推移。群馬の製材工場の操業状況は、フル稼働で在庫積増し中。原木の出材は虫害時期で若干少ないが逼迫感はない。また、製品の荷動き悪く生産調整中の工場もあるため、逼迫の歯止めになっている。原木在庫は盆明け出材減を予想し積増し中。製品市場での荷動き悪く、小売業者は比較的暇。製品在庫は積増しがほぼ一巡。製品価格は下がり気味だが、公共物件の注文材でカバー。品薄の一部羽柄材の注文が続く。

2. 米材

米国産米マツ丸太は、引続き日本/中国からの引合い弱く、原木サプライヤーは生産調整を継続、出材は低調。カナダ丸太も日本/中国の引合い落ちと山火事入山規制のため生産はスローダウン。産地港頭在庫は低位のまま推移。ウェアハウザー社の 8 月積み米マツ IS ソートは、前月比較 \$ 10 下げの推定 \$ 820。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の米材製材工場は、需要低迷により大型港湾工場、内陸部中小工場ともに生産調整。ILWU (米港湾労働者組合) と PMA (荷主協会) との間で労使交渉が継続中。米製材品の TLT (東京木材埠頭) 7 月の入荷量は 38.0 千 m³ で前月比 4.8% 増、出荷量は 32.8 千 m³ で前月比 5.3% 増、在庫量は 68.3 千 m³ で 8.3% 増。6 月の米国新設住宅着工戸数は、年率 89.3 万戸で前月比 2 か月連続減、対前年同月比 7.5% 増。中国向けが減退しているので日本への期待は高いが、7 月積み成約は SPF・DF 共に減少。産地価格は対日向け DF KD STD J グレードは先月比横這い。角 \$ 465-470/m³、垂木 \$ 480/m³ (CIF) での取引。各製材工場は日本向けアイテムを減少し北米市場にシフト。ランダムレンジス紙発表の 15 種平均価格は、上昇傾向だが SPF は一進一退。荷動きは良く

流通業者間での販売競争が厳しい。現地は日本からの引合い減少で落胆、9月以降の期待を込めて買い付けに動く業者もある。

3. 南洋材

サバは断食月が明け、このまま好天が続けば出材はより順調になる。依然としてインド、中国、日本への輸出は順調で、価格も強含み続く。現地工場は引続き原木手当が難しく、日本向け製材品の出荷状況悪い。サラワクの本木出材は安定しているが、インド市場が堅調のため価格は高値横這いのまま。各製材工場は数量が多く、品質緩い近隣諸国や中東へ集中。日本向け製材品は減少が続き、価格も下がらないまま推移。PNG ソロモンは天候悪く出材は不安定で、価格は高値張り付き。南洋材丸太の入荷は横這い、出荷は増加、在庫は減少。製材品の入荷は横這い。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品の販売は、現地の太材良木が不足のため、平割、棒材の入荷悪い。集成材は荷動き悪く当用買いが主流。

4. 北洋材

ロシア極東はエゾマツ、カラマツの出材多く、今後も日本向けは安定。シベリア地方は、山火事の影響が懸念されたが、伐採エリアは確保。現状は不足感もあるが、夏切り丸太ベースに中国、中近東向けに生産続ける。但し、中国の不景気感、中近東の政情不安の要因から、方向性は定まらない。富山新港の7月丸太入荷量はエゾマツ 3.4 千 m^3 でアカマツはなし。原盤は 7.3 千 m^3 。在庫は2-3ヶ月。価格動向は、丸太はアカマツ・エゾマツ・カラマツ横這い。製材品も国内挽きはやや弱い。輸入アカマツ製品は下げ基調。荷動きは現地完成品の相場が定まらず、当用買い多く低調。製材品も住宅資材受注減少し低調。国内製材工場は丸太、原盤とも不採算。稼働状況は採算合わず引続き生産調整。受注は5-6月より良。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は、住宅着工減や針葉樹合板の減産など弱い要素が多いが、カラマツだけは相変わらず強めでの推移。外材は、米材が現地着工減で弱含み、ロシア材は横這い、南洋材は引続き強気での状況が継続。6月の国内合板生産量 24.7 万 m^3 のうち針葉樹合板は 23.2 万 m^3 で、出荷量は 17.9 万 m^3 と4か月連続で生産量が出荷量を上回る。在庫量は 21.2 万 m^3 で 2012年7月以来の 20 万 m^3 超えとなり、出荷量を大幅に上回る。販売価格は、8月メーカーは横這いを唱える。7月から減産し盆休み明け値戻しを図るようだが、今の需要状況や生産量を勘案すると値戻しには少し時間がかかるとの見方強く、暫く横這いで推移

すると予測。国産針葉樹合板の荷動きは引続き盛り上がり欠ける状況。雰囲気も今だ7月からの減産発表の効果を感じるに至っていない。ただ西のメーカーでは安値競争は少ない模様。輸入合板は商社が長引くコスト割れ相場から強い値戻しを打出したことで、荷動きに若干の良好な状況が見えてきた。先行き、針葉樹合板は減産効果が出てくるのが、早くて盆明けとの見方強い。輸入合板は8月の値戻しは浸透、今後も商社はコストに見合うまで強い姿勢で臨むと予測され、先行き非常に読みづらい展開。流通在庫は国内、輸入ともにすべてのアイテムで潤沢。ラワン構造用合板12mmで荷余り感。

6. 構造用集成材

原料ラミナの現地生産、入港ともに順調。国産集成材の受注は弱い。販売・荷動きは若干回復したが、全体的には去年の8割程度。販売先行きは、関東エリアは順調、関西は受注落ち込み。秋需は無く消費税10%の動きに需要が傾くと予想。来年春の需要回復を期待。減産により在庫は若干減少。輸入集成材は柱に港頭在庫多い。7月は輸入が順調だったため国内生産品の販売が停滞。第3四半期契約は€10-20値下げで纏まりつつあるが、梁は€385でコストが59,000円/m³、WW柱€370で同1,850円/本で、国内と輸入の差がなくメリットを感じないユーザーが多い。山梨県のメーカーが生産中止したほか、東北のメーカーで大幅減産の模様。

7. 市売問屋

国産材構造材は、スギ、ヒノキの柱、土台共に引合い鈍く、小口が主体でまとまった動き少ない。造作材はリフォーム需要が安定した動き、建具用スギ桁平割もここにきて小動き。外材構造材は、米マツ、米ヒバ、米ツガの製品がダブついており、荷動きは一段と停滞感が強い。造作材はリフォーム用スプルー、ピーラーに小動き。4月以降仕入れを控えていたが、手持ち在庫補充のため、ここにきて市場への来場者増える。本格的な始動は盆休み明けになりそう。一般的には買方の新規住宅需要が伸びず、仕入れ意欲が鈍い。

8. 小売

国産材の構造材はスギ弱保合、ヒノキ土台保合で柱弱保合。外材はロシアアカマツ垂木弱保合、米ツガKD角、平割、SPFいずれも保合。造作材はスプルー良材保合、ナラ・タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹、ラワンともに弱保合。床板、フロア材保合。プレカット工場は加工・見積りともに順調。引続き町場の工務店の仕事少ないが、ここにきて忙しい工務店と暇な工務店との差がますます広がる。

8月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	↘	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↗
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オンタ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米マツ ISタイプ コースト	→
			米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
(国内挽き)		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ (3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ (3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ (10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↘
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘